

さんゆうてい た か すけ
三遊亭 多歌介 氏

肩書：落語家



略歴

1966年（昭和41年）11月26日生まれの江戸っ子噺家。親の仕事の関係（建設関係）で幼少の頃は鹿児島～埼玉県越谷にて成長し、学生の頃より人を笑わせる快感を覚え中学にて落研を創設。

卒業した高校（春日部共栄高等学校）では、現在でも落語会を開催し、生徒さんたちに落語、大喜利、古典芸能を師事している。

1984年、憧れの三遊亭圓歌氏（元落語協会会長）に入門、内弟子（住み込み）として4年半、修行に励み、

1989年、二つ目昇進、三遊亭歌風（カフウ）襲名。

1997年、真打ち昇進、三遊亭多歌介（タカスケ）に。

江戸下町グランプリ委員、横浜YS落語会委員。

公益財団法人いきいき埼玉（埼玉県）の講師として、講演会を15年以上毎年開催（現在進行中）。

又、商店街大好き芸人で、商店街散策の趣味がこうじて、商店街評論もこなし、墨田区では東京スカイツリーを利用した商店街活性化活動も進めている。

テレビ出演： 「笑点」（日本テレビ）ゲスト出演、NHK名人会、WOWOWレギュラー

現在、インターネットTV「ニコニコ生放送」にて、そ～しゃる大喜利開催、各大学お笑いサークルの大喜利選手権を開催中。

CM： 小僧寿司、イーグルバス、大宮健康センターゆの郷、ポラスグループ、桃太郎便（運送業）

講演会等： 彩の国いきがい大学（公益財団法人いきいき埼玉）講師、春日部共栄高等学校講師。

警察署（全国30ヶ所以上）、消防署（全国40ヶ所以上）、公共団体、商工会議所（200ヶ所以上）、ライオンズ、ロータリークラブ、各有名企業等でも講演会を開催（500以上）。

又、建築関係の家庭に生まれ、現場にも精通し、現在は安全大会でも落語の知識を生かし、江戸下町庶民の安全に対する取り組みを交えて楽しく笑え、ためになる講演会を開催。

落語活動： 都内5つの寄席にてトリをつとめ、全日空寄席、独演会も全国にて多数開催。

阪神～上越～東北と震災では落語支援活動にも従事、笑える事、言葉の大切さを伝えます。

モットー： マスコミよりロコミ、生で伝える大切さ

逢えて、聞いて、嬉しい人生